

第3章 将来像

第1節 江南市の地域社会のしくみ

社会の成熟化、それに伴う市民の価値観やニーズの多様化、地方分権の推進などを背景に、従来のような市役所主導の、国や県に依存した地域社会づくりは求められなくなってきています。地域の進むべき方向は地域のみんなで考えて選択し、それを目標として共有すること、また共有した目標に向かって、地域のみんなが担い手となって力を発揮し協力し合うことが求められています。それが、江南市を郷土として想い、愛着をもつ地域の構成員みんなの満足感を高めることにつながるものと考えられます。

市民意向調査^{※4}においても、市民、企業、市民団体、市役所などによる“協働型まちづくり”が望ましいと考える市民が約67%にのぼっており、また公共サービスの提供にあたっては、市民負担は増やさず、協働によるサービスの維持・向上をめざすべきとする市民が約49%となっています。

このようなことから、平成29年度までに江南市がめざす地域社会のしくみを、次のように定めます。

◆地域社会のしくみ

だれもが主役、

みんなで築く、みんなの郷土

～地域の進むべき方向を「共に考え」

地域づくりを「共に担う」～

第2節 江南市の都市のすがた

江南市は、これまで、名古屋近郊の「ベッドタウン」として発展してきました。しかし、高齢化の進展や地場産業の衰退により、都市活力の低下、市民所得の減少などが生じており、このままでは、地域が経済的に自立し、市民が豊かな生活を送ることは困難になることが予想されます。

^{※4} 江南市戦略計画策定に係る市民意向調査（平成18年4月実施）。

そのような状況を回避するためには、まずは、この地域が独自にもつ、温暖で暮らしやすい気候、豊かな自然、名古屋へのアクセスの良さなどの潜在的な資源をいっそう活かし、暮らしやすく活力あるまちとしての都市機能を備えることにより、さらなる発展を確かなものにする必要があります。

さまざまな都市機能を備えた「ベッドタウン」としての発展に加えて、地域の抱える課題を解決したり、市民の日常生活を支援したりする活動が、地域の中で活発に行われるようになると、江南市は一段と暮らしやすく活気のあるまちになります。市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関などが、自らの努力や互いの協力、ボランティア活動、コミュニティビジネス^{※1}の起業などを通じて対応をすることが、多様化する地域課題や複雑化するニーズに対し有効であり、特に、コミュニティビジネス^{※1}は、それが地域の産業として育ち、定着することにより、地域としての経済的な自立や活性化にもつながることが期待されます。

市民意向調査^{※2}においても、名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなくなるような生活しやすいベッドタウンとしての発展を望む市民の割合が約 30%と最も多くなっています。また、それと並んで、起業や事業所・商店の進出などを通じた、雇用の場の確保による地域の発展を望む市民の割合が約 29%と高くなっています。

このように、暮らしやすい「ベッドタウン」を基本に、そこに「市民の生活を地域で支えるコミュニティビジネス^{※1}の創出」、「既存の生活産業の活性化」、「地域に新しい価値をもたらすベンチャー^{※3}の起業」などを加えることにより、市民の生活が地域で支えられて、市民がより豊かに暮らすことのできる、自立し活力ある「生活都市」へと転換を図ることが、これからの江南市にとって重要となります。

※1 コミュニティビジネスとは、高齢者介護、子育て支援、環境保全、生涯学習、地域の活性化などに関する地域の課題を、地域資源を活かしながら「ビジネス」の手法で解決していこうとする取り組み。

※2 江南市戦略計画策定に係る市民意向調査（平成 18 年 4 月実施）。

※3 ベンチャーとは、起業して新しい領域の事業を行う企業やビジネスのこと。一般に、独自の技術や商品を以って新ビジネスに取り組む、成長初期の中小企業を指す。

このようなことから、平成 29 年度までに江南市がめざす、都市のすがたを、次のように定めます。

◆都市のすがた

豊かで暮らしやすい生活都市

～市民の生活が地域で支えられる「生活都市」～

また、めざす「生活都市」の都市機能は、次のとおりです。

- 安心・安全に暮らせるまち
- 快適・便利に暮らせるまち
- 市民が生きがいをもち、活力あふれるまち
- 豊かな人材が育つまち
- 環境と調和した豊かな生活の場があるまち

◇生活都市とは

住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市（ベッドタウン）」を核に、様々な生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現される。

